

日本語の本

やわらかクジラ

2023-10-09



# 目次

はじめに	5
テンプレートの説明	5
実行方法	5
bookdown 版でとてもお世話になったサイト	6
概要	6
本書の特徴	6
想定読者	6
各章の紹介	6
執筆環境	7
R および RStudio、パッケージのバージョン	7
使用上の注意など	7
ライセンス	7
<b>第 1 章   マークダウンの基本</b>	<b>9</b>
1.1    チャンクオプション	9
1.1.1    実行あり，結果表示あり，コードあり	9
1.1.2    実行あり，結果表示あり，コードなし	10
1.1.3    実行あり，結果表示なし (図はあり)，コードあり	11
1.1.4    実行あり，結果表示なし，コードあり	12
1.1.5    実行なし，コードあり	12

---

1.1.6	実行あり，結果表示なし，コードなし . . . . .	13
1.2	引用と脚注 . . . . .	13
1.3	セクションへのリンク . . . . .	14
1.4	図表へのリンク . . . . .	14
<b>第 2 章</b>	<b>図表</b>	<b>17</b>
2.1	図 . . . . .	17
2.2	表 . . . . .	18
<b>第 3 章</b>	<b>注意事項</b>	<b>19</b>
<b>第 4 章</b>	<b>参考資料</b>	<b>21</b>



bookdown 版でとてもお世話になったサイト

- [Bookdown](#) による技術系同人誌執筆

## 概要

- 本書の目的
  - 説明
- 本書の内容
  - 説明
- 執筆動機
  - 説明
- 今後の展望
  -
- 本書の内容は、[github](#) レポジトリですべて公開

## 本書の特徴

- 本書の強み
  -

## 想定読者

- R と RStudio をダウンロードして PC にインストールまでできることが最低条件

## 各章の紹介

- [1](#)章では

ind	values
version	R version 4.3.0 (2023-04-21 ucrt)
os	Windows 10 x64 (build 19045)
system	x86_64, mingw32
date	2023-12-29

package	loadedversion
tidyverse	2.0.0

## 執筆環境

- 本書は[Quarto](#)にて執筆
  - バージョン 1.3.450

## R および RStudio、パッケージのバージョン

- rstudio だけなぜか表示されないので手動で...
  - バージョン RStudio 2023.09.0+463 “Desert Sunflower”

## 使用上の注意など

- 本書の内容はすべて windows 環境を想定しています。
- この本に書いてある内容は、筆者が学習したことをまとめているものにすぎないため、正常な動作の保証はできません。使用する際は、自己責任でお願いします。

## ライセンス





## 第 1 章

# マークダウンの基本

```
library(tidyverse)

df <-
  palmerpenguins::penguins
```

### 1.1 チャンクオプション

- [デフォルトの確認](#)
- [HTML Code Blocks](#)

—

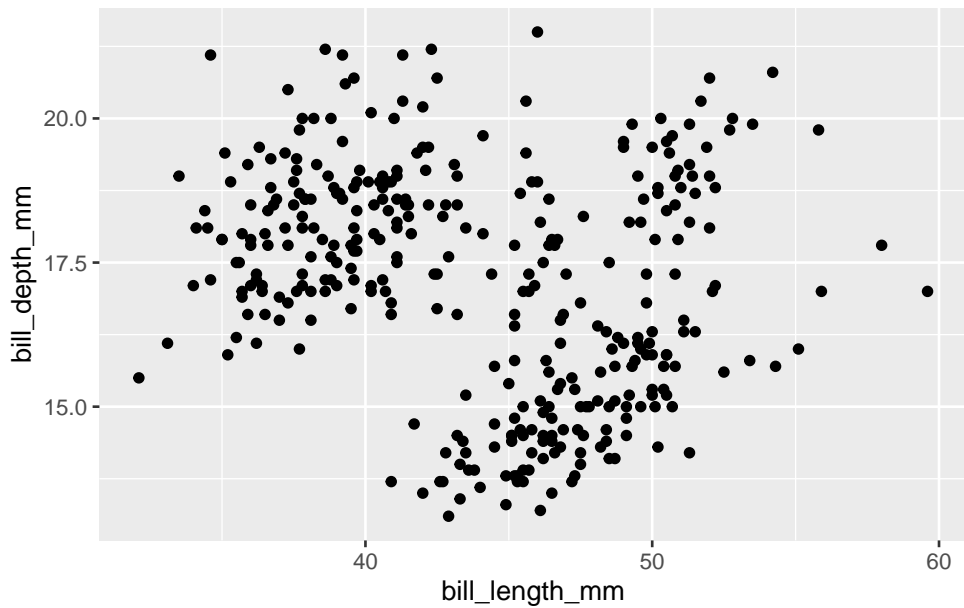
#### 1.1.1 実行あり，結果表示あり，コードあり

- デフォルト

```
1 + 1
```

```
[1] 2
```

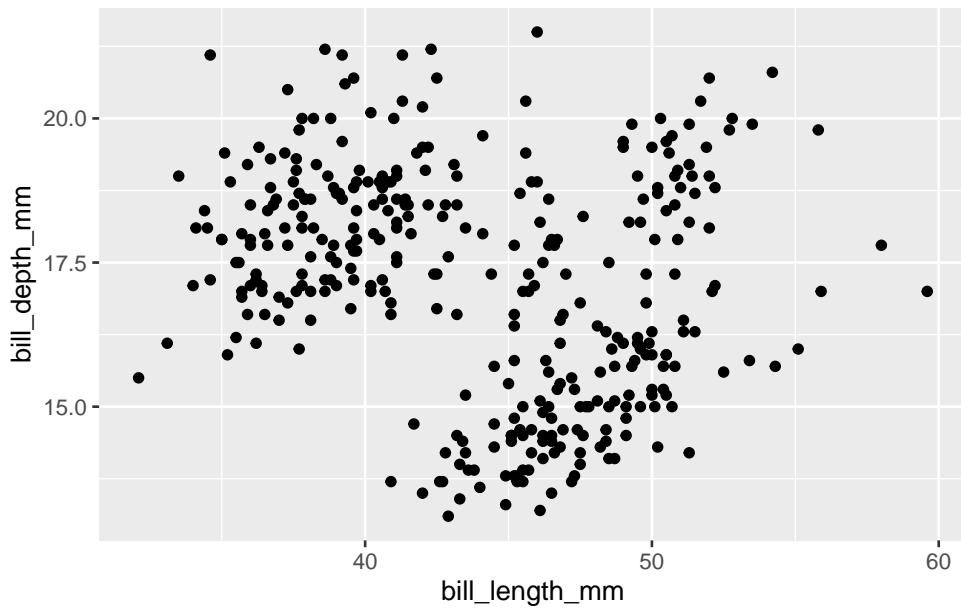
```
ggplot(df) +
  geom_point(aes(bill_length_mm, bill_depth_mm))
```



### 1.1.2 実行あり，結果表示あり，コードなし

- `#| echo: false`

[1] 2

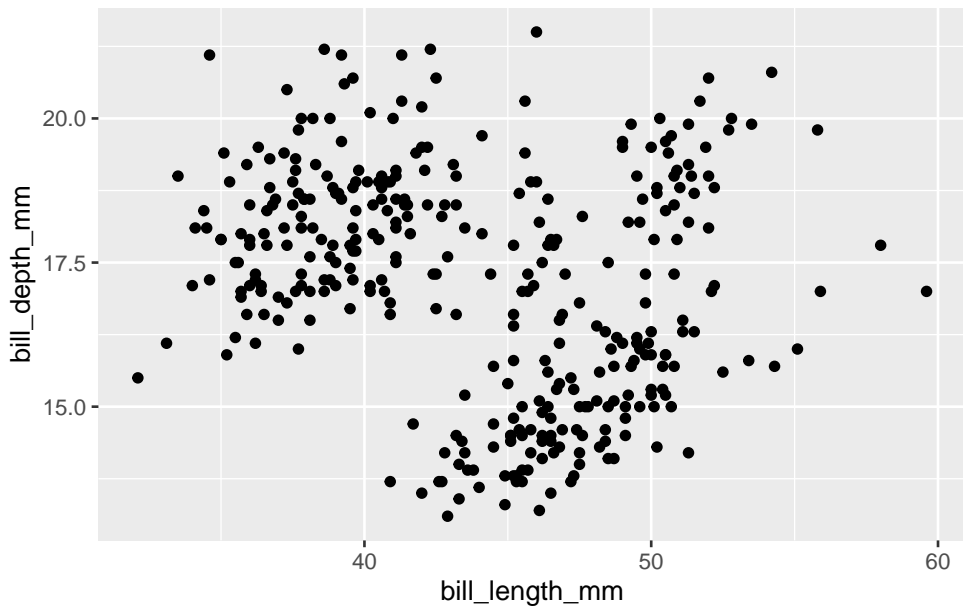


### 1.1.3 実行あり，結果表示なし (図はあり)，コードあり

- `#| results: hide`

```
1 + 1
```

```
ggplot(df) +  
  geom_point(aes(bill_length_mm, bill_depth_mm))
```



#### 1.1.4 実行あり，結果表示なし，コードあり

- `#| output: false`

```
1 + 1
```

```
ggplot(df) +  
  geom_point(aes(bill_length_mm, bill_depth_mm))
```

#### 1.1.5 実行なし，コードあり

- `#| eval: false`
  - コード表示したいだけの時に便利

```
1 + 1
```

```
ggplot(df) +
  geom_point(aes(bill_length_mm, bill_depth_mm))
```

### 1.1.6 実行あり，結果表示なし，コードなし

- `#| include: false`

## 1.2 引用と脚注

- 脚注 (footnote) をつける

見え方	書き方
基本の脚注 <sup>*1</sup>	基本の脚注 [ <sup>1</sup> ]
[ ] 内は文字でもよい <sup>*2</sup>	[ ] 内は文字でもよい [ <sup>word</sup> ]
脚注内容を本文中に <sup>*3</sup>	脚注内容を本文中に <sup>^</sup> [直接 [ ] 内に内容を書く]
見え方と書き方で脚注番号が異なることも <sup>*4</sup>	見え方と書き方で脚注番号が異なることも [ <sup>2</sup> ]
脚注を複数行に分ける <sup>*5</sup>	脚注を複数行に分ける [ <sup>multiple</sup> ]

### 脚注内容の記述

[<sup>1</sup>]: 脚注の内容を本文とは別に書く

[<sup>word</sup>]: 文字でも脚注番号に変換される

[<sup>2</sup>]: これまでの脚注の文字数字とかぶらなければ自動で連番の数値に変換される

[<sup>multiple</sup>]: 複数行書くためにインデントで区別する。以下1行ずつ空ける必要あり。

---

<sup>\*1</sup> 1行のみの脚注

<sup>\*2</sup> 文字でも脚注番号に変換される

<sup>\*3</sup> 直接 [ ] 内に内容を書く

<sup>\*4</sup> これまでの脚注の文字数字とかぶらなければ自動で連番の数値に変換される

<sup>\*5</sup> 複数行書くためにインデントで区別する。以下1行ずつ空ける必要あり

2段落目

3段落目

4段落目

2段落目

3段落目

4段落目

【補足】

本来は`[^multiple]`で

`{ }`でコードも書ける

`{ 1+1 }`

と書きたかったが、pdfでエラーになるので省略

## 1.3 セクションへのリンク

見え方	書き方
Chapter 3	<code>[@sec-caution]</code>
3	<code>[-@sec-caution]</code>
セクション 3	<code>[セクション -@sec-caution]</code>
3章	<code>[-@sec-caution] 章</code>
3	<code>[-@sec-caution 章]</code>
注意事項	<code>[注意事項] (#sec-caution)</code>

## 1.4 図表へのリンク

見え方	書き方
Figure 2.1 を参照	@fig-zu を参照
図 2.1 を参照	[図 -@fig-zu] を参照
Table 2.1 を参照	@tbl-hyo を参照
表 2.1を参照	[表 -@tbl-hyo] を参照





## 第 2 章

# 图表

### 2.1 图

```
library(ggplot2)
ggplot(mtcars) +
  geom_point(aes(mpg, disp))
```

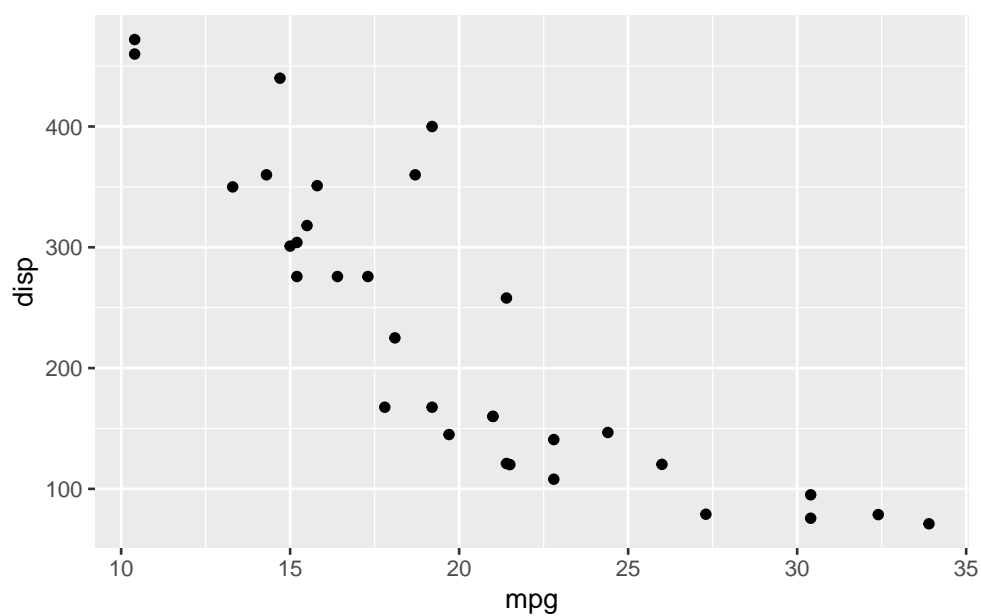


Figure2.1: 散布图

Figure 2.1 を参照

## 2.2 表

Table2.1: 表タイトル

Col1	Col2	Col3
x	1	10
y	0	20

Table 2.1 を参照

## 第 3 章

# 注意事項

- 奇数ページだと 1 ページ白紙になるので，偶数ページにしないとだめ
- 前半，後半部分は，PDF として作成するときはページ数増えるので不要かも



## 第 4 章

# 参考資料

- [Quarto Books のドキュメント](#)

著者：著者名  
発行：2019 年 11 月 18 日  
サークル名：サークル名  
連絡先：メールアドレス  
印刷：印刷所名